

ふじえだ 市議会

題字：大洲中学校 2年3組 ^{いけがや}池谷 ^{りこ}莉子さん



「東海道岡部宿にぎわいまつり」(撮影場所：市内岡部町岡部)

伊久美 邦夫さん

Vol.
229
ふじえだ市議会だより

令和6年2月5日



市の主要事業等における成果や課題の整理、施策の評価を3つの常任委員会で行い、以下の項目を「提言書」として市長へ提出しました。

提言書は市議会ホームページに掲載していますので、ご覧ください。



健康福祉教育委員会

1 教育部門について

教員の負担軽減のため支援員とスクールサポートスタッフの大幅増員を！

若者に違法薬物・ドラッグについての教育現場での啓発強化を！



2 子育て環境の整備について

子育て世帯の負担軽減のため、こども医療費助成の更なる拡充を！

保育士不足が深刻化しているため、独自の処遇改善の取り組みを進めて！



3 生活困窮者に対する施策について

生活困窮者の中には市税や水道料金などの支払いに苦慮され、滞納されている方が見受けられる。生活再建に向けて、関連部署が連携しての対応をさらに強化を！



4 病院について

コロナ患者受入のための空床補償は大幅な縮小となるが、引き続き中等症以上の患者の受け入れを継続し、公立病院として地域住民の命を支える先頭に立つて！



藤枝市立総合病院

3 中心市街地再開発と旧市街地総合再生の推進

中心市街地再開発と旧市街地総合再生について、計画を着実に推進し、土地の合理的高度利用や景観・ホスピタリティの向上などにより定住人口・関係人口の増加に向け取り組みを！



駅前一丁目6街区
(イメージ)

4 交通渋滞解消にむけた基幹道路整備

県道226号線高洲和田線の交通量は大幅に増加し、車の渋滞も激しく通勤トラブルや、交通安全面から見ても危険な状況にある。小川島田幹線、焼津市境（高柳～焼津市中新田）の接続により、藤枝南部地区の大幅な渋滞緩和を！



5 本市経済の回復と物価高騰対策

昨今のエネルギー費・原材料費・人件費等の高騰に苦しむ市内事業者に対して、コスト負担の緩和や価格転嫁の支援に取り組まれるとともに、消費喚起に向けた商店への支援にも取り組みを！



総務委員会

1 地域防災力の強化

想定される南海トラフ巨大地震と風水害の防災意識の啓発と避難訓練は、新たに行われた夜間訓練等、市民の安全を確保するため更に推し進めて！



地域防災訓練にて

2 選挙投票率の向上

若い世代の政治への関心を高めるため、選挙制度や議員の仕事を身近に感じる機会を増やし、投票率を上げる政策の実施を！



3 新庁舎建設計画について

今後の展開について、予算立案や市民主体の将来ニーズ、環境への配慮についての方針や計画を議会に示して！



建設経済環境委員会

1 風水害への対応について

浸水被害の反復を根絶するための抜本的な対策として、降雨量と内水氾濫・外水氾濫に関する大規模なシミュレーションを活用した総合的な治水計画を、周辺自治体と連携して策定を！



2級河川^{しんげつ}の浚渫

2 グリーン・トランスフォーメーション(GX)の推進

第2次藤枝市地球温暖化対策の目標達成のために、適切なマイルストーン設定と厳密な進捗管理に基づき、環境部門のみならず全庁体制をもって気候変動に適応するGX施策推進を！



令和5年11月定例月議会で審議された議案

◆出席した全議員が認めた議案

議案番号	議案名
第72号	令和5年度藤枝市一般会計補正予算（第5号）
第73号	令和5年度藤枝市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
第74号	令和5年度藤枝市介護保険特別会計補正予算（第2号）
第75号	藤枝市郷土博物館条例の一部を改正する条例
第76号	藤枝市文学館条例の一部を改正する条例
第77号	藤枝市空き家等の適切な管理に関する条例の一部を改正する条例
第78号	藤枝市立総合病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例
第79号	藤枝市医学生等修学資金貸付条例の一部を改正する条例
第80号	藤枝市民西益津温水プール・藤枝市民大洲温水プール・藤枝勤労者体育館の指定管理者の指定について
第81号	志太・榛原地域救急医療センターの指定管理者の指定について
第82号	藤枝市駅南自転車駐車場の指定管理者の指定について
第83号	藤枝市・岡部町合併基本計画の変更について
第84号	字の区域の変更について
第85号	建設工事請負契約の締結について（令和4年災害第69号 市道8地区168号線（押越橋）橋梁災害復旧工事）
第86号	建設工事委託変更協定の締結について（国道1号藤枝バイパス及び都市計画道路天王町仮宿線の新設事業）
第87号	令和5年度藤枝市一般会計補正予算（第6号）
第88号	令和5年度藤枝市病院事業会計補正予算（第2号）
第89号	藤枝市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
第90号	藤枝市議会議員の議員報酬及び期末手当の支給並びに費用弁償条例の一部を改正する条例
第91号	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
第93号	藤枝市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
第94号	藤枝市まちをきれいにする条例の一部を改正する条例
諮問第4号	人権擁護委員候補者の推薦について
発議案第9号	ガザ地区に対するイスラエルの攻撃の停止と即時停戦を求める決議

◆賛否の分かれた議案◆

○賛成 ×反対

議案番号	議員名（議席順）		さとうまりこ	八木勝	川島美希子	池田博	大石心平	藪崎正幸	山川智己	深津寧子	石井通春	増田克彦	鈴木岳幸	平井登	神戸好伸	多田晃	油井和行	山根一	山本信行	遠藤久仁雄	岡村好男	小林和彦	大石保幸	植田裕明
	案件・結果																							
第92号	藤枝市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○
発議案第10号	藤枝市議会と台南市議会との友好交流協定締結について	可決	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○

※議長は採決には加われません。

《討論の内容はこちらから》



会議日：令和5年12月14日（本会議最終日）

可決された議員発議

11月定例月議会において、議員提出による発議案が提出され、原案のとおり可決しましたのでお知らせします。

発議案第9号

ガザ地区に対するイスラエルの攻撃の停止と即時停戦を求める決議

藤枝市議会は、市民と共に、恒久平和に向けた努力を重ね、ガザ地区の平和の早期実現を切に願い決議しました。

1. 一般市民への攻撃や非人道的行為をいかなる理由であれ正当化できない。
2. 国際法に基づき、事態の早期鎮静化と人道状況の改善を図ること。
3. イスラエルによるガザ地区への攻撃を直ちに停止し、即時に停戦に入るよう強く求める。

詳細はQRコードからご覧ください。➡



発議案第10号

藤枝市議会と台南市議会との友好交流協定締結について

10年前から交流を続けてきた経緯等を踏まえ、藤枝市議会は台南市議会との友好交流協定の締結を行い、本協定により、本市と台南市の市民や事業者間での交流が一層深まり、両市の経済、教育、スポーツ、文化、観光等の発展が期待されます。また、国際的な理解と友情の促進に寄与する意味でも本協定締結を願うものであります。

人事案件

次の人事案件について、本議会は、適当と認めました。

◆諮問第4号 人権擁護委員 村上 光子さん（大洲二）

常任委員会審査レポート

ピックアップ！

総務委員会

第80号議案

- ・ 藤枝市民西益津温水プール・藤枝市民大洲温水プール
- ・ 藤枝勤労者体育館の指定管理者の指定について



西益津温水プールの現地審査の様子

コロナ禍で減少した利用者数を戻すために、自主事業の強化を考えており、現指定管理者が、自主事業の企画運営に強みを持ち、施設の管理経験もある新たに加わる会社と共同企業体を組織することで、目的を達成したいとのことでした。

委員会としても利用者数の増加は願っていることであり、可決すべきものと判断しました。

本会議
可決

健康福祉教育委員会

第81号議案

志太・榛原地域救急医療センターの 指定管理者の指定について

現在、この施設の指定管理者となっている公益社団法人志太・榛原地域救急医療対策協会を、令和6年4月1日から3年間、引き続き指定管理者として指定するもの。

感染症への対応や医師の働き方改革への対応など、様々な課題がある中で、志太・榛原地域の住民が安心して診断と治療が受けられるよう努めていると確認し、委員会としても可決すべきものと決定しました。



志太・榛原地域救急医療センターの現地審査の様子

本会議
可決

建設経済環境委員会

第82号議案

藤枝市駅南自転車駐車場の指定管理者の指定について



駅南自転車駐車場の現地審査の様子

現在、この施設の指定管理者となっている株式会社まちづくり藤枝を、令和6年4月1日から5年間、引き続き指定管理者として指定するもの。

コロナ禍の影響により収益が減少する中、高齢者や子育て世代の方でも使いやすいように「おもしろゾーン」を設置するなど、利便性の高い駐車場作りに努めていることなどを確認し、委員会としても可決すべきものと決定しました。

本会議
可決

Q&A

一般質問

11月議会の一般質問は、
11月29日(水)、30日(木)、12月1日(金)の
3日間にわたり行われました。

- 議員が市の一般事業に対して、執行状況や将来の方針をただしたり、政策的な提言を行います。質問は1議員50分以内です。
- 一般質問コーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。
- 市ホームページで議会録画映像の配信や「会議録の検索」により一般質問など本会議の詳しい内容も、ご覧になれます。



インターネット議会中継



会議録検索システム

私はこれを確実に「形」にする責任を感じています。市民・議員の皆様のご理解とご支援を頂くならば、しっかりと受け止め、引き続き市政の舵取りを決意させていただきます。



問 北村市長の今後の市政経営と決意表明を伺う。
答 昨今の加速する少子高齢化に加え、物価高騰等々、極めて厳しい舵取りが続いております。まさに正念場です。市民の皆様の暮らしを改善し将来に向けて確かな成長を築く市政経営が必要です。

問 四期十六年の市の財政基盤の確立について伺う。
答 職員自らの全事業の総点検等により市長就任当初の、臨財債を除く市債(借金は約八七二億円が約四四七億円と半減。また約一一四億円だった基金残高(預金)は二一七億円と倍増し、財政の健全化指標は飛躍的に改善した。

問 四期十六年の市立総合病院の経営健全策を伺う。
答 市長就任当初、病院存続の危機の中、医師の確保と診療科の再開が最重要課題とし取組んだ結果、当時六〇人程の常勤医師も現在は研修医を含め一七〇人余に拡大、がん診療や救命救急など、高度医療の提供により黒字達成を果たした。

北村市政四期十六年の総括と今後の市政経営についての決意表明



藤のまち未来
岡村 好男 議員



問 今後の市政経営への決意。
答 高齢者の活躍の場の確保、認知症対策の強化、こども医療費の完全無償化、発達に課題のあるこどもの支援など、本市ではこれまでに類を見ない対策を進めていきたい。

問 次年度予算編成の概要。
答 市制七十周年、サッカーのまち百周年の大きな節目にあたり、本市の更なる成長、明るい未来へと力強く踏み出す原動力となる予算の編成に向け、全庁を挙げて知恵を絞りながら、編成作業に取り組んでゆく。

問 次年度予算案の概要について。
答 市制七十周年、サッカーのまち百周年の大きな節目にあたり、本市の更なる成長、明るい未来へと力強く踏み出す原動力となる予算の編成に向け、全庁を挙げて知恵を絞りながら、編成作業に取り組んでゆく。

北村市政4期16年の総括と次年度予算案の概要について

問 軽便の存在を一目で知らしめる有用な周知手段になるので、設置可能か土地の所有状況や所有者の意向について調査を進めてゆく。

問 駿遠線跡の各駅跡に駅名標を復元してはどうか。
答 軽便の存在を一目で知らしめる有用な周知手段になるので、設置可能か土地の所有状況や所有者の意向について調査を進めてゆく。



藤枝の鉄道遺産の更なる活用を求めて

駿遠線跡を活かしてみてもどうか



藤新会
植田 裕明 議員





藤新会
大石 心平 議員



市内の放置竹林について

問 間伐もしくは皆伐などで伐採した竹等の処分に本市所有の樹木粉碎機をJAおおいがわを通して利用する際に、現在は一時間千円の利用料がかかるが、作業日数によっては利用者にとって大きな負担となってくる。この点に置いて当局の見解を伺う。

答 樹木粉碎機の利用が更に促進されるように利用料については無償化に向けて検討していく。

問 現在森林環境譲与税の主な使途としては山地災害防止事業があるが、今後放置竹林対策事業をここに盛り込むなどして制度の拡充をする等の考えはあるか伺う。

答 現在の森林環境譲与税を活用した山地災害防止事業の中に伐採後の管理を竹林所有者等と連携して行う仕組みを構築し、竹林対策事業を新たにメニューとして追加することで、更なる森林環境の向上に繋げていく。



藤新会
山川 智己 議員



観光交流とプロモーション戦略について

問 サッカー100周年企画として、大人気マンガ「ブルーロック」とのコラボは。

答 出版社と調整中で、実行できるかは未定だが、可能となればサッカーミュージアムでのフォトスポットや記念品グッズを検討していきたい。

問 観光・プロモーション戦略において、民間との連携をどのように行っていくか。

答 民間の持つノウハウ・柔軟なアイデア・マーケティングを効果的に取り入れることが重要であり、来年度は、多様なプロジェクトの経験を持ち幅広いノウハウを積んだ人材を招聘し、戦略的な取り組みに着手していく。

問 観光協会等との連携や体制について、今後の本市の考えは。

答 官民連携の体制を強化するため、観光協会の一般社団法人化に向けて準備している。国や県への補助金申請や主体的な収益事業の展開、行政職員の派遣等が可能となり、全市的な観光まちづくり戦略を強力に進めていく。



日本共産党
さとうまりこ 議員



子どもの医療費・学校給食費の完全無償化を

問 若い人が子どもを産んで育てようと思えるためには、全ての人が大切にされる温かい社会にしていけることが必要だ。いま公共サービスの担い手である自治体の役割が、求められている。本市が、子ども全員をもれなくしっかりと支えるために、給食費と医療費の完全無償化を提案する。学校給食費の無償化についてはどうか。

答 地域による格差があってはならない。国の対応を要請する。経済的に困難な家庭には就学援助をしていく。

問 就学援助では、一部の子もしくは支援できない。中間所得層も、生活が苦しいのは同じ。給食の受益者である子どもにとって、「本当の安心」とは、分け隔てなく支援が受けられる完全無償化ではないか。

答 限られた財源を有効活用するために、援助を必要とする方を限定することは不可欠。

問 医療費の無償化についてはどうか。

答 国策として一律の制度とすべきであり、国に継続して要望しているが、経済の低迷や急激な物価高騰を鑑み、次年度10月診療分より無償化する。

18歳まで
医療費ゼロ 実現



学校の
給食費もゼロに



藤のまち未来

増田 克彦 議員



リニア中央新幹線トンネル工事と大井川の水資源について

問 「田代ダム案」についてJR東海から流域首長に個別に説明された内容を伺う。

答 トンネル掘削により県外に流出する湧水量と同量以上を東京電力R.P.が田代ダムから取水抑制する。流量の少ない時期は発電を止めて水量を確保することを東京電力R.P.と協議していく。

問 「田代ダム案」について、市長も含めた流域関係者からなる大井川利水関係協議会としての決議を調整中と報道されていたが、どのように回答されるか伺う。

答 本日(11月29日)、県に対して案を了解する旨回答した。県外流出と同量の取水抑制を行えない状態が続いた場合など、大井川利水関係協議会にわかりやすく説明するようにJR東海へ求めている。

問 生態系への影響など未解決の課題が複数あるなか、「田代ダム案」に対する市長の見解を伺う。

答 本市が一貫として求めていることは大井川の水を利用する市民や事業者の生活や経済活動を守ることであり、「地元地域の水量と水質を絶対に守ってほしい」という思いに変わりはしない。水資源や環境の保全と両立する、地域にとって安全安心なリニア整備に向けた建設的な協議が進むよう主体的に関わっていく。



工事の影響が懸念されるヤマトイワナ



公明党

大石 保幸 議員



プレコンセプションケアへの取り組みについて

問 「プレコンセプションケア」(妊娠前ケア)とは、若い世代が将来の妊娠・出産を含めたライフプランを考えて日々の生活や健康と向き合うことと言われているが、市の取組みについて伺う。

答 18歳以上が対象の「ヘルスアップ健診」や「思春期講座」を市内全中学校で実施するなど、心と体の健康管理に取組んできた。

問 今後の普及啓発と簡易的な「プレコンチェックシート」の市ホームページへの掲載を求めたいが市の考えを伺う。

答 全ての若い世代にとって大切なケアであることから、国立成育医療研究センターの情報や先進地の取組みを研究し、プレコンチェックシートをホームページに掲載するなど、普及啓発に努めていく。



ロケツーリズムへの取組みについて

問 国では観光におけるインバウンドの回復戦略として「ロケツーリズムの推進」を掲げているが、市の取組みについて伺う。

答 市職員による若手プロジェクトチームも先進地を視察するなど研究を行っており、効果や課題を検証し、関係機関とも検討をしていきたい。



藤新会

藪崎 正幸 議員



藤枝市内全域を取り残さないために

問 藤枝市内の面積の7割は中山間地域です。その部分における人口減少対策は?

答 これまでも中山間地域における定住を呼び込むために移住政策や空き家対策を行っているが思うような結果は得られていない。ふじえだ陶芸村構想等の施策を行い活性化中山間地域の活性化に努める。また地域の皆様と連携した空き家対策や移住相談などを強化していく。

問 ふじえだmobi等は駅周辺には大変便利であるがそのほかの部分においては有効性が低い。そのような地域格差をどのように埋めるのか?

答 バス路線の維持、乗合タクシーの拡充など地域の課題に寄り添った対策を考えていく。

問 駅周辺、蓮華寺池周辺、総合運動公園等以外にもっと力を注いで欲しい。

問 藤枝市内の渋滞が激しい中、岡部や広幡地区は新幹線駅の静岡に30分で行け、高速のICにも近く移住者や企業にかなり注目されている地域である。この波を利用してぜひ開発を進めるために土地利用の規制緩和をしていただきたい。

答 前問の中山間地や市街化調整区域において来年度より、各地域の人口対策として都市計画法や農地法などの関係法令を踏まえる中で、独自の土地利用の可能性や手法等の検討に着手する。



藤新会
小林 和彦 議員



人口減少対策について

問 人口増加していた頃の要因について伺う。

答 4K施策、青木や水守の区画整理などの宅地供給が居住を推進した。また、東日本大震災により、沿岸部から内陸部への大規模な人口移動があり、移住定住が継続的に進んだ。

問 人口減少傾向に入った以降の要因について伺う。

答 分譲地への住宅立地が一段落し、建築需要の高まりから建築コストも右肩上がりになったことや、津波などの意識が薄れ、内陸部から沿岸部への人口移動があったことが要因に上げられる。

問 定住人口の把握及び移住者の人数について伺う。

答 子育てファミリー移住定住促進事業など、移住支援制度を利用して住宅を取得された移住者は戸建ては331人、分譲マンションは13人、空き家購入は89人である。

問 自然増（出生の増加に対する取組）について伺う。

答 本市では、ここ数年800人台で推移していた出生数が750人まで減少しているが、来年度よりこども医療費の完全無償化や民間活力を導入した住宅供給等々、多角的に取組を進めている。

問 優良田園住宅の実績について伺う。

答 市内5地区で実施している実績は、瀬戸谷、葉梨地区で2戸、大洲地区では宅地分譲を含めて29戸、稲葉、岡部地区では現在のところ実績はない。



藤のまち未来
八木 勝 議員



工事入札制度について

問 工事成績評定点を参加条件とする入札について現在の条件では、参加条件工事成績評価の平均点が基準です。このため、平均点未満であったら優良な工事を完成させていても参加出来ません。参加が制限される可能性がある状況を改善する為、参加条件の見直しを検討してはいかがでしょうか。

答 制度全体の公平性や効果を向上させるよう、参加条件などが妥当かどうか、この制度の在り方も含めて見直しを検討する。

四年ぶりの開催！藤枝大祭りへの評価と今後について

問 「大祭り屋台位置情報サービスをどう評価したか」について。

答 今回導入した位置情報サービスでは、3日間で約4万1千人を超える利用者から延べ約6万6千回のアクセスがあった。観光客や参加者からも大変便利との声を多数いただき、良い反響があったと伺っている。

問 物価高騰や人手不足など2年後の金額面での補助増額を約束して欲しいと強く感じるがその辺について伺う。

答 2年後に向けて、物価高騰の煽りもあるが、引き続き、文化庁に働きかけるなど財源確保に向けて支援していく。



公明党
山本 信行 議員



市内企業のDX推進について

問 同じ業種や職種等で企業同士の交流会があると、DXに対する取組がより進むと思うが伺います。

答 「藤枝未来DXスクール」では、講座終了後も参加者同士で各社のDXの現状や課題等について話し合う交流の場を定期的に設けていく予定です。さらに、商工会議所等と連携し、視察やセミナー等を通じて交流を図り、DXへの理解を市内企業に広めていきます。

おたふくかぜワクチンについて

問 本市のおたふくかぜワクチンの助成について考えを伺います。

答 おたふくかぜの感染力はインフルエンザよりも強く、ほぼ風しんに匹敵する感染力を持つといわれており、接種率が85%から90%になると罹患危険率がゼロになり、流行が終息すると言われております。本市においては接種率90%を目指し、来年度からの公費助成の実施に向けた制度設計を速やかに行ってまいります。

問 助成金額などは現時点でどのようにお考えか伺います。

答 日本小児科学会では2回接種を推奨しています。助成金額については接種費用の1/2程度を目安に、他市町の事例を参考にしながら検討していきます。





藤のまち未来
鈴木 岳幸 議員



教育現場の課題について

問 子どもたちに支給しているタブレットは、重く処理速度が遅いとの意見もある。高機能な新機種へ更新をできないか、伺います。

答 現在のタブレットが児童生徒にとっては、重いとの声も伺っている。令和7年度末には導入5年を迎えるため更新を検討しています。まず本年中に教員を含めて新機種の選定委員会を設置して、さらに充実したICT教育への環境づくりを進めていきます。

問 通級指導教室は、子どもたちの学びの困難さを支援する大変重要な施策であるが、設置校が小学校の一部にとどまっている。これをさらに拡大することはできないか、伺います。

答 通級指導教室は、子どもたちが自分の特性に応じて対応を学ぶことができるとても重要なものであるため、小学校で順次拡大し、現在5校10教室に加えてサテライト教室7校に設置しています。来年度は中学校でも特定の分野の学習に困難さを持つ生徒向けに新たに開設し更なる支援体制を充実させてまいります。



藤のまち未来
平井 登 議員



藤枝MYFCのJ1昇格を見据えた環境整備

問 サッカースタジアムのネーミングライツ（命名権を売りスタジアムの維持運営資金を調達する手法）導入に向けた取組状況を伺う。

答 他市の導入事例や候補企業等の情報収集を重ね募集要綱や審査基準の検討を進めている。引き続き機を逃さぬよう適切な時期や、整備、運営費等を考慮した適正な契約金額を検討している。

問 J1仕様1万5千人収容のスタジアム整備について考えを伺う。

答 J1ライセンスの「例外適用制度」を利用することで昇格から最大8年の猶予を受けられるため、この期間を最大限活用し整備計画をクラブ側と相談しながら検討する。

問 スタジアム及び専用練習場等の整備と同時にさらなる駐車場の確保や交通インフラ整備が求められるが対策を伺う。

答 現状の交通対策では対応が難しくなるので、ホームタウン4市2町に協力を求めバスや乗合いタクシーの運行など新たな手段を検討している。また、本市では来年度、スポーツを核に幅広い世代が集い交流できる滞在型のまちづくりを目指す「藤枝シティ・トレセン構想」づくりを進め、J1昇格も見据えたスタジアムや専用練習場、駐車場、交通対策等の整備方針をクラブと共に検討していく。



藤新会
神戸 好伸 議員



自治会・町内会が永続的に活動するために

問 人口減少や高齢化が進む中、加入率の低下や担い手不足等の問題を抱えながらも、私たちの生活に無くては成らない必須的な役割を持つ、自治会・町内会を住民が理解し、永続的な活動とする為に以下伺う。

答 ・書式の統一化や配布書類の削減など、市はもとより関係団体からの依頼業務のスリム化についても出来る事から速やかに行っていく。
・先進的な取組を全ての自治会で共有する様、事例集の作成を行っていく。
・デジタル化等の効率化提案も参考に負担軽減策を更に検討を進めていく。

建設発生土の処理地を藤枝市で確保できないか

問 建設発生土の最終処理地や中間処理地（土質改良等）は市内に僅かしが無く、藤枝市も処理地の確保に積極的に関与し、官民連携で今後の建設工事やその後の産業の発展に関与していくべきと考えるが如何か。

答 ・要対策土処理場及び残土処分先の確保については、公共工事の最重要課題であり必要性を認識している。
・関係各課の職員で構成する組織において、現状の課題を整理し、処分地や土質改良プランの確保についての研究を始めたところ。



日本共産党
石井 通春 議員



猛毒のヒ素セレンが検出、 かりやど道の駅建設中止を

問 国一バイパス潮トンネル掘削土を造成工事に使用している、かりやど道の駅から、雨によるヒ素セレンが流出した。ベントナイト混合土によって包み込むから安全だと言っていたが、前提が崩れた。

答 今回の流出は要対策土からであり、ベントナイト工法自体に問題はない。

問 どれだけ流出したかも不明、対策が万全かも不明、地元への説明は漏出から2か月後。この状況で工事続行があり得るか。

答 いち早く封じ込めが完全になるよう要請し、地元住民へ現場見学会を行っていく。

明確なビジョンなく市に四つの道の駅 が必要か

問 全国ほとんどの道の駅が赤字経営の中で、藤枝市は仮宿の他、瀬戸谷に道の駅の整備工事を行っている。どこが経営するか、何を作るのか、何を売るのか、一切不明な状況で数十億かけて作る必要はあるのか。

答 民間手法のノウハウを活かして、地域の発展につなげていく。

問 現在、ゆらくと売店(ちよっくら)は地元住民の運営で黒字を続けている。来年度の指定管理者をなぜ公募するのか。

答 地域に資する施設として、色んな事業者と選択肢においている。



藤のまち未来
遠藤久仁雄 議員



市民と共に、交通事故の減少に向けて

問 本市が「交通マナー日本一」を目指すなら、横断歩道を渡るとき、歩行者からドライバーに向けて感謝の気持ちを表すアクションがあったらよいと思うが如何か。

答 ドライバーの歩行者に対する思いやり運転や、歩行者からドライバーに対する感謝のお辞儀や挨拶は重要なことだと考える。年4回の交通安全運動に合わせて行っている「見守り・あいさつ運動」の中で、感謝の気持ちを込めるような啓発に努める。

問 交通事故の被害者になっても加害者になっても家族の苦しみは大きいものがある。ハンドルを手にするときは、事故を起こしたとき誰が一番悲しむのかいつも気に留めていたい。そんな家族から「大切なあなたへ」、ショートメッセージを書いてもらい、運転席の片隅に置いて運転できるようにしたいが如何か。

答 子供や孫、家族を悲しませたくないという思いは皆さんがお持ちであると思う。交通安全は、一人ひとりの意識が非常に大切なので、議員が提案するメッセージを大切な人に贈る取り組みをぜひ実施したいと思う。今後検討していく。



「あっ、とびだしとび太君だ!」



藤のまち未来
川島美希子 議員



公共交通と公園等の 今後の展開・運営について

問 公共交通のバス利用者の確保、路線維持の課題について、今後の対策・展開は考えているか。

答 バス停型乗り合いタクシーの新設・延伸や「出かけっCARサービス」「ふじえだ足すと号」等先駆けてやってきた。「出かけっCARサービス」の立ち上げが難しい地域の団体がタクシー業者と連携して行う新サービスを来年度導入するよう準備している。

問 すでに行っている地域は、導入できるか何う。

答 柔軟に対応していきたいと考えている。

問 乗合タクシーのメリットと導入の判断について。予約制で、路線の拡充を柔軟に行うことができる元々バス路線として運行していた路線について、タクシー車両でも賄える乗車人数であったことから再編したもの。今後乗降車数の推移や住民ニーズを踏まえ、より効果的、効率的な手法を選択していく。

問 蓮華寺池公園の維持管理費が6400万円弱に上る。公園を核とした施策展開について何う。

答 エントラゾーンの整備を民間資金による整備手法「コネクト」により民間のノウハウや企画力、機動力が活かされるような形を考えている。公募を開始することになれば本市で初となる。

問 蓮華寺池公園周辺にボール遊びができる広場、無料の室内休憩所が欲しいという声がある。

答 子供が遊べるスペース確保など、今後社会実験による検証を行う。



2024年 議員から皆様へごあいさつ

2024年、今年も宜しくお願い致します。

議会と執行部がともに力を合わせ、市民の皆様が健やかで幸せに暮らしていくため、さらに努力していくことを、お誓い申し上げます。



2024年1月4日

植田裕明 大石保幸 小林和彦
山根 一 油井和行 多田 晃 神戸好伸
深津寧子 山川智己 藪崎正幸 大石心平

岡村好男 遠藤久仁雄 山本信行
平井 登 鈴木岳幸 増田克彦 石井通春
池田 博 川島美希子 八木 勝 さとうまりこ
(席順)

議会は藤枝市議会 ホームページでもご覧いただけます

藤枝市議会ホームページでは、本会議のライブ中継と録画放映を行っています。市民生活に直結した重要な問題の審議をぜひご覧ください。



Facebook「藤枝市議会」で 議会活動情報を随時更新しています

藤枝市議会では、ホームページ、市議会だよりに加え、議会の情報発信を強化し、より多くの方に議会への関心をもっていただくために、随時投稿しています。ぜひ、ご覧ください。



問い合わせ【議会事務局】 ☎643-3552

総務委員会

大阪府貝塚市 10月30日

新庁舎の建設について

市の施設が分散していたが、新庁舎を中心に市だけではなく、市以外の行政機関も集積したエリアを形成。

PFIの手法を取ることで、民間事業者が持つ資金力や経営能力、技術的能力などを活用することで、自治体は財政負担を軽減できると共に、庁舎の維持管理や運営等を民間に任せられ、スリム化が図れるメリットがある。



滋賀県甲賀市 10月31日

日本遺産を活用した観光施策について

日本遺産とは、日本の文化や伝統を語るストーリーを文化庁が認定するもので、藤枝市も静岡市と共同で申請した「弥次さん喜多さん、駿洲の旅」が認定されている。甲賀市も日本六古窯の一つである信楽焼と、伊賀（三重県）とともに甲賀市が発祥地として双壁をなす「忍者」が日本遺産に認定されており、甲賀市の観光拠点整備等について理解を深めた。



健康福祉教育委員会

兵庫県相生市 10月30日

相生市「11の鍵」の取り組みについて

人口減少対策、教育子育て少子化対策、産業活性化対策の3点を重点施策として、「11の鍵」の事業を開始。子育て支援策を前面に打ち出すPRにより、近隣市などからの移住者獲得に力を入れ、人口の社会増となるなどの成果を上げた。



和歌山県和歌山市 10月31日

和歌山市民図書館の取り組みについて

令和2年に図書館をリニューアルオープンし、運営に関しては指定管理者制度を導入した。民間の運営により、様々なイベントが充実し、来館者の増員に繋がっている。また、おしゃれで素敵なイメージづくりにも成功し、若者から子育て世帯、お年寄りまで来館者で賑わい、駅周辺のにぎわい創出にも寄与している。



建設経済環境委員会

神奈川県厚木市 10月30日

カーボンニュートラルに向けた取組について

2050年にカーボンニュートラルを達成するために、厚木市カーボンニュートラルロードマップを策定。2030年、2040年、2050年のCO2削減目標、再生可能エネルギーの導入目標、省エネ目標を定め、産業や家庭といった部門ごとの目標も明確に示し、推進している。



千葉県佐倉市 10月31日

オーガニックビレッジの取組について

有機農業の推進に向けた具体的な目標や方針を定めた「佐倉市有機農業実施計画」を策定し、本年3月に「オーガニックビレッジ宣言」を行った。学校給食への有機農産物の導入や、有機農業に関する栽培技術研修の開催など、持続可能な農業を実現するための方策の一つとして、有機農業の取組を行っている。



広報広聴委員会

石川県加賀市 10月18日

議会活性化特別委員会での取り組み、議会だより及び意見交換会等について

平成23年に議会基本条例を施行。2022年には議会改革度調査全国4位となる。「議会だより」は、1問につき360文字の限られた中で「議員のひとこと」を追加するなど見やすさとともに内容の充実や議員個々の意見反映が図られている。住民参加型グループトーク方式の導入を精力的に実施し、提言も積極的に行われている。SNSの活用による情報発信を強化し、YouTubeを利用して議会の発信も行なっている。



石川県白山市 10月19日

議会だより及び議会報告・意見交換会等について

議会だよりは「見やすさ重視」「市民の意見を掲載する」など、まずは手に取ってもらえるよう、2色刷りから全ページフルカラー、ユニバーサルデザインなど紙面のリニューアルを行った。一般質問のコーナーは1人につき72文字へ変更した。また、公聴機能を大幅に強化することを決め、公聴部会として委員を3名増員し、意見交換会の回数を増やした。



議会改革特別委員会

山形県米沢市 10月18日

議会改革への取り組みについて

政策提言については、各常任委員会でテーマを決め政策課題の検討を行い、市民との意見交換会での意見も踏まえて、執行部に提出している。令和5年より執行部からのフィードバックを行っている。議員定数・議員報酬等については、「検討委員会」を設置し、合計35回開催し、1年8カ月をかけて、定数、報酬、政務活動費を合わせて研究・議論し、独自の報酬算出の「米沢方式」を確立したことなどは注目すべき点である。



栃木県宇都宮市 10月19日

議会改革への取り組みについて

政策討論の実施について、議員相互の合意形成、資質向上のため、各常任委員会での議員間による政策討論を実施している。委員会ごとに討論テーマを決め、各委員による情報収集や委員間の自由討議のほか、必要に応じ、視察や、執行部や有識者からの意見聴取など、積極的な活動が行われている。議員の資質向上を目的とするのであれば、このような方法は、本市でも検討しやすい。



B C P 策定プロジェクトチーム

磐田市 11月2日

市議会業務継続計画（議会BCP）について

総務委員会の所管事務調査での検討ののち、議長へ策定に関する申入れが行われ、先進事例を参考に素案の協議を重ね、令和3年10月に策定。台風災害対応として、災害等対策会議を設置し、執行部報告や文書質問を実施したほか、会期中での委員会の延期や時間短縮などの方針が決定された。BCPは説明文主体であり、分かりにくい部分をチャートで補うなど工夫がみられた。また、抜き打ちの安否確認や議場からの避難なども実施しており、BCPの策定に加え、訓練についての必要性も改めて感じた。



2月市議会定例月議会

2月定例月議会は、2月19日から3月21日までの32日間で開かれる予定です。

2月19日 本会議1日目(☆)

議案上程等

常任委員会

3月 4日 本会議2日目(☆)

代表質問

5日 本会議3日目(☆)

一般質問

6日 本会議4日目(☆)

一般質問・議案質疑等

7日 現地審査

8日 予算委員会

11日 予算委員会

12日 予算委員会

13日 常任委員会・予算委員会

14日 予算委員会

21日 本会議5日目・採決等(☆)

☆藤枝市議会ホームページでも
ご覧いただけます。

日程はこちらからご覧ください→



議会傍聴をお待ちしています

※傍聴席数：32席



議会は、どなたでも傍聴することができます。
予約不要ですのでお気軽にお越しください。
市役所5階の傍聴受付で
傍聴券を受けとれば、傍聴できます。
住所、氏名などの記入は、不要です。

※配慮が必要な方は、事前に議会事務局まで
お問い合わせください。

問い合わせ【議会事務局】 ☎643-3552



予約
不要

どなた
でも



応募イラスト・写真コーナー

テーマ「市内のお出かけスポット」※好きな場所



「とんがりぼう」
(撮影場所：蓮華寺池公園)
撮影：寺田 清さん



「櫻宮神社」
(撮影場所：時ヶ谷)
撮影：小長谷 充朗さん



「駅南イルミネーション」
(撮影場所：藤枝駅南口)
撮影：浅野 直美さん

